安全パトロール

下久保ダム貯水池内堆砂測量業務
（水資源機構　下久保ダム管理所）

弊社では現場作業時の安全対策を強化するため、現場担当ではない女性社員による安全パトロールを実施しております。
日ごろ現場経験のない第三者目線で点検することで、見落としがちな危険箇所を見つけることを目的としております。
今回は、下久保ダムにて安全パトロールを実施してまいりました。

安全パトロール実施状況

作業当日の気象情報や作業時の注意点について情報共有を行うため、作業前ミーティングにて周知を行った。

担当者に作業内容を確認しながら、実際に作業を体験することで、担当者目線でのパトロールを実施した。

パトロール結果について担当者全員で意見を出し合い、次回の測量作業時における課題について安全対策案の検討を行った。

安全対策案

問題点

岸にロープを結び付けるポールがない場合、付近にある岩に巻き付けていた。万が一外れた場合は舟が流されてしまうおそれがある。

停船箇所の状況に応じた固定方法を選択

改善案

- アンカーが刺さる場合
  ロープをアンカーでしっかりと固定する。
- アンカーが刺さらない場合
  ブルーシートの上に近くにある複数の岩石を置き、ロープを巻き付け固定する。

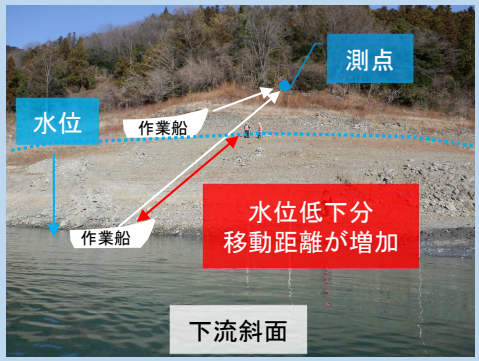
どちらの方法でも固定できない場合は、船舶免許資格保有者が船に残るようにする。

安全対策実施結果

改善案：停船箇所の状況に応じた固定方法を選択

停船箇所の状況に応じ、アンカーで固定する方法や、ブルーシートと岩石を用いて船をしっかりと係留することができた。

急斜面での作業に対する安全対策



問題点

下流斜面には大小様々な岩石が多数点在しており、水際はぬかるみ滑落・転倒のおそれがある。また、雨不足によりダムの水位が低下したことより、測点までの移動距離が増加したことで、さらに危険性が高くなった。

安全対策

斜面は基本的に横移動とし、船を停船時は極力ぬかるみを避けて滑落・転倒防止を図った。

問題点

下流斜面と比較すると上流域はさらに急斜面であり、重い測量器械を持ちながら登るのは危険である。さらに斜面の大部分が木や茂みや苔などに覆われており、足元に絡まりやすく滑落・転倒のおそれがある。

安全対策

上流域はUAVレーザ測量にて実施し、滑落・転倒事故を未然に防止した。

ダムの水位低下に伴い、移動距離が増加したことにより滑落・転倒のリスクが増し、熟練の技術者でも身構える現場となりましたが、最新機器を導入するなど作業方法を工夫したことで、リスクを軽減し、安全に作業を実施することができました。今後も「安心・安全」な現場作業を行うために取り組んでまいります。